

令和4年度 市教研教頭部 事業計画（案）

1 研究構想

(1) 研究主題

未来を生きる力を育む魅力ある学校づくりを目指して（第Ⅷ期3年次）

(2) 主題設定の理由

本年度は第3次浜松市教育総合計画「はままつ人づくり未来プラン」後期の3年目にあたり、市の教育理念「未来創造への人づくり」「市民協働による人づくり」のもと、各校でキャリア教育に重点を置いた教育活動の推進が図られている。また、完全実施となった新学習指導要領をふまえ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けての授業改善に取り組んでいる。

浜松市教頭会では、社会の変化に柔軟に対応しながら、自校の教育活動の在り方を見直してきた。「はままつの教育」が目指す「夢と希望を持ち続ける子供」「これからの社会を生き抜くための資質や能力を育む子供」「自分らしさを大切にする子供」の育成を目指し、これまでも各校でその具現化が図られてきた。これからはさらに「よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、子供たちに必要な力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現を目指していかなければならない。

そこで、第12期（令和2年度～令和4年度の3年間）の全国統一研究主題「未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり」との関連も図り、本年度の研究主題を「未来を生きる力を育む魅力ある学校づくりを目指して」とした。また、研究の視点も同様に「教育課程・子供の発達」「環境整備・組織運営」「教職員の専門性・教頭職務」の3つとし、各校の学校教育目標の具現に向けた教頭として役割について研究に取り組んでいく。

「教育課程・子供の発達」	… 社会に開かれた教育課程の創造、教育活動全体を通じたキャリア教育の推進
「環境整備・組織運営」	… 危機管理体制の在り方、教育の情報化、組織マネジメントと学校運営の活性化
「教職員の専門性・教頭職務」	… 教職員の資質向上、教職員の協働体制づくり・チーム学校における取組

本年度の研究にあたっては、「教頭自身の力量を高めると共に、教職員個々のためまぬ自己改革を促し、育成すること」「校長の経営理念を理解し、より質の高い教育活動を展開する学校体制をつくること」「学校の教育方針や実践活動等を家庭や地域、教育機関等に発信し、地域と共にある学校づくりを推進すること」を常に意識して職務に専念することを全校の教頭で共通理解して研究を進めていきたい。

(3) 評価他

ア 前記3つの視点からの研究は、第3次浜松市教育総合計画に照らした達成度とともに、各校の実践に質の高まりが見られるかを評価しながら推進する。

イ 必要に応じて各校へのアンケートや聞き取り調査を行う。

ウ 浜松市教育研究会教頭部の研修会をもって、浜松市教頭会の研修会にあてる。

（教頭会会則第6章第10条の2より）